

平成 21 年 1 月 23 日

各 位

株式会社ワールドインテック
 代表取締役会長兼社長 伊井田 栄吉
 (JASDAQ・コード 2429)
 問合せ先
 取締役経営マネジメント本部 菅野 利彦
 電話 093-533-0540

特別損失の発生及び業績予想の修正並びに役員報酬の減額等に関するお知らせ

この度、特別損失が発生いたしますのでお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 2 月 12 日付にて発表いたしました平成 20 年 12 月期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

また、役員報酬の減額を決定いたしましたのであわせてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

世界的な景気後退により国内の主力メーカー各社は、大幅な減産体制に入り派遣社員を中心とした雇用調整に入っております。

このような事業環境の中、当社グループのコア事業であるファクトリー事業でも社員雇用を最優先に事業を進めてまいりましたが、雇用調整に伴う諸経費（有給休暇・休業補償等）216 百万円が発生したため特別損失として計上します。

2. 平成 20 年 12 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	51,075	2,075	2,222	1,083
今回修正 (B)	48,783	1,091	1,305	263
増減額 (B - A)	△2,292	△984	△917	△820
増減率	△4.5%	△47.4%	△41.3%	△75.7%
(参考) 前期 (平成 19 年 12 月期) 実績	46,497	1,345	1,772	741

(2) 修正理由

当社グループの業績は、第3四半期までは概ね順調に推移してまいりましたが、第4四半期に入り世界的な景気後退に見舞われ、当社グループのコア事業であるファクトリー事業の国内の主力メーカー、特に自動車・半導体関連企業におきまして大幅な減産体制に入り、派遣社員を中心とした雇用調整が行われたため、売上高につきましては前回予想を下回る見込みとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の大幅な減少に加え、減員に伴う付帯費用（寮に係る費用等）が発生したため前回予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、上記特別損失計上したことから前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

3. 平成20年12月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	42,188	1,796	1,808	961
今回修正（B）	39,033	965	992	258
増減額（B－A）	△3,155	△831	△816	△703
増減率	△7.5%	△46.3%	△45.1%	△73.2%
（参考） 前期（平成19年12月期）実績	37,884	1,494	1,511	782

(2) 修正理由

連結業績予想修正と同じ理由によるものであります。

4. 今後の対応

現況を真摯に受け止め、以下の基本方針に基づき、安定的な収益確保を図ってまいります。

(1) 役員報酬の減額

① 役員報酬減額の内容

代表取締役：月額報酬の50%を減額

取締役及び執行役員：月額報酬の20%を減額

② 対象期間

平成21年1月から一定の業績回復が見込めるまで

(2) コスト削減について

- ・ 収益力に合致した適正な組織体制の見直しを図るため、人員整理を実施し効率的な経営を目指す。
- ・ 営業拠点等の統廃合を行うことにより賃借料の大幅な削減に努めるとともに、人員を集中させ業務の効率化を図る。

- ・ 経費削減委員会を設置し、諸経費の見直しを行い無駄な経費の削減を行う。

以 上

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。